

令和元年度第1回神戸市地域包括支援センター運営協議会の報告について

1. 日時 令和元年9月26日(木) 午後1時30分～午後3時30分

2. 開催場所 兵庫県農業会館 10階105・106会議室

3. 出席者 18委員中14人出席

#### 4. 議題

##### 【協議事項】

- (1) 地域包括支援センター運営評価について
- (2) 西神中央あんしんすこやかセンター所在地の変更について

##### 【報告事項】

- (3) 平成30年度あんしんすこやかセンター運営状況
- (4) 公正・中立性の確保について（区運営協議会審議事項報告）
- (5) 各区における意見
  - ①各区運営協議会審議事項に対する意見について（抜粋）
  - ②東灘区からの提案について
- (6) 令和2年度あんしんすこやかセンター公募スケジュールについて
- (7) あんしんすこやかセンター収支決算書・予算書（非公開）

#### 5. 当日出された主な意見および事務局回答

##### 【協議事項】

- (1) 地域包括支援センター運営評価について

- ・（委員意見）人材不足の中で、改善指導対象がなく、よい評価だったというのはすばらしい。市の日ごろのご指導が影響しているのではと思う。
- ・（委員意見）職員配置について不適のセンターは減少しているが、配置が厳しいと聞く。新卒の方や主任ケアマネジャーなどが就職したいと思うような、あんしんすこやかセンターの業務のあり方を魅力ある職場として、アピールすることが必要ではないかと思うので、市も何らかの形で協力いただけたらありがたい。
- ・（委員意見）全体的によりよい評価であると思うが、今の水準が全国的にどうなのか他都市と比較してどうなのかといったあたりも、情報提供していただければありがたい。

- (2) 西神中央あんしんすこやかセンター所在地の変更について承認を得た。

【報告事項】

- (3) 平成 30 年度あんしんすこやかセンター運営状況

- ・(委員意見) ケアマネジャーの個別事例もセンターとしてはよく関わっているようだが、地域ケア会議へなかなか結びついていないのではないかと思う。ケアマネジャーが地域ケア会議に積極的に出席できるような仕組みづくりがあれば、もっと個別課題に関する地域ケア会議が開催されるのではと思うので、その点が今後の課題ではないか。
- (事務局) ケアマネジメント支援が増えているが、センター職員からは、サービス担当者会議と個別の地域ケア会議とをどうすみ分けて実施していくかという点や、日々の業務に追われて会議開催の期を逃しているセンターが多いのではないかという意見を聞いている。また、個別地域ケア会議を地域の方の協力も得て、複数回開催しているセンターもあると聞いているので、そのノウハウは他のセンターにも周知して取り組みやすいような環境づくりを考えてまいりたい。
  
- ・(委員意見) 地域ケア会議に取り上げる課題として個別課題よりも地域づくりが多い傾向にあるとなっているが、県下の他の市は個別課題に重点がある。神戸市の場合はなぜ地域づくりのほうに傾向があるのか分析しているか。
- (事務局) 本市では地域診断の研修を以前から始めていたことや、個別課題の類似事例が地域に複数ある場合に、どのようにすれば解決につながるネットワークを組んだり、関係職者が連携したり対応していけるかというところに視点をおいてきた。このようなことが個別事例対応にも生かせるということもあり、地域づくりが多い傾向になっていると考えている。
  
- ・(委員意見) 2025 年に象徴される地域包括ケア時代の到来を控えて、しかるべき段階や進捗をむかえていかなければならない中で、医療と福祉と地域の関わりを基軸に着眼した具体的な取り組みとして、地域ケア会議は非常に大きな役割を果たすべきものと考えている。小学校区の何パーセント実施したという数値的なものではなく、現段階としてしかるべき進捗をしているのか、という質的な評価は行っているのか。
- (事務局) あんしんすこやかセンター圏域内の各地域の意識の高まりや現状については、個々に評価、分析できている状況ではない。現在実施し

ている地域は、比較的取り組みやすい課題や、住民が困っている課題から着手していることが多い。

一方で、地域包括ケアの推進に向けては、本市で別途、地域包括ケア推進部会を設けている。現在、地域ケア会議は生活者の視点での課題がテーマとなっていることが多く、医療・福祉という観点での議論は少ない。各あんしんすこやかセンターが検討している課題と各区レベルで検討している内容については、地域包括ケア推進部会へ報告する予定である。

- ・(委員意見) センター職員という専門職種が1~2年や3~4年で交替するのは望ましくないと思うが、10年を超えるように長ければ長いほどよいということでもないと思う。
- (事務局) 長く勤務してもらえれば、経験が蓄積されていくので、質の向上にもつながるだろうし、新しい職員が多いと職員の不安も高いため経験者の存在は大きいと聞いており、長く勤めるデメリットよりメリットの方が大きいのではないかと感じている。市として離職を食い止められるような支援として何ができるか一緒に考えていきたい。

(4) 公正・中立性の確保について  
特に意見なし。

(5) ②東灘区からの提案(P4参照)について  
特に意見なし。

(6) 令和2年度あんしんすこやかセンター公募スケジュールについて  
特に意見なし。